

単位数／配当時間	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	I学年 Ⅱ課程A(5名)、B(3名)		せいかつの図鑑

			(知及び技) 知識及び技能	・働くことについて関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする（中Ⅰ段階）			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	・将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定、実践し報告する等、課題を解決する力を養う（中Ⅰ段階）			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	・よりよい職業生活の実現に向けて、作業遂行のため工夫し考えようとする実践的な態度を養う（中Ⅰ段階）			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3～	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くようとしている。 (主学) 作業で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	・オリエンテーション ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング ※授業の始めと終わり	ミーティング内容(毎時) ○入退室時のあいさつ ※正しいあいさつとは ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等※自分の「役割」と「責任」 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題	道徳「みんなのためのきまり」
			(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ること。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑦】 (思判表力) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑧】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている。 (思・判・表) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ろうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	・製作工程を知る ・係分担を知る ・家庭で出る廃油について知る ・SDGs をする（自分ができること） ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ○職業環境を整える ※正しい清掃の仕方（机拭き(洗う・絞る・拭く)） ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	社会「SDGs」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」 生活「掃除」
	5月 ～ 7月	30	(知及技) 製作の基本的な加工技術を知る。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑨】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組むことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 製作の基本的な加工技術を知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸作品を知る	○ミーティング ※正しい清掃の仕方（ほうき(はく方向・塵取り)） ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」
			(知及技) 業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑩】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中Ⅰ段階Aイ(イ)⑪】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみに付け製作加工をしようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう（基本技能試しによる小物製作） ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ※正しい清掃の仕方（モップ(洗う・絞る・拭く)） ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ※基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」
	9月	12	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くようとしている。 (主学) 作業で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	・一学期の振り返り ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング ※授業の始めと終わり	ミーティング内容(毎時) ○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題 ※正しい清掃の仕方（自分が得意なもの）	数学「個数」 生活「掃除」

2 学 期	10月 ～ 12月	39	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中Ⅰ段階Aイ(ア)㊸】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中Ⅰ段階Aイ(イ)㊹】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳A「個性の伸長」
			(知及技) 製作の基本的な加工技術を知る。【中Ⅰ段階Aイ(ア)㊹】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組むことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 製作の基本的な加工技術を知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「長さ」「単位」 「個数」 道徳A「希望と勇氣、努力と強い意志」
			(知及技) 作業の持続性や巧緻性などをみに付けること。 【中Ⅰ段階Aイ(ア)㊺】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中Ⅰ段階Aイ(イ)㊻】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみに付け製作加工をしようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう（基本技能試しによる小物製作）	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ※基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳A「希望と勇氣、努力と強い意志」
3 学 期	1月 ～ 3月	15	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知り、活用できているか製作を通して気づくことができる。【中Ⅰ段階Aイ(ア)㊻】 (思判表力) 愛汗祭に向けて、必要な健康管理について気づくことができる。【中Ⅰ段階Aイ(イ)㊼】 (学・人) 働くことの意味などを知ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知り、活用できているか製作を通して気づけている。 (思・判・表) 愛汗祭に向けて、必要な健康管理について気づけている。 (主学) 働くことの意味などを知らうとしている。	・二学期の振り返り ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング ※授業の始めと終わりに実施	○ミーティング ○二学期の振り返り 作業内容確認 ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ※基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳B「礼儀、友情、信頼」
			(知及技) 作業の持続性や巧緻性などをみに付けること。 【中Ⅰ段階Aア(ア)㊼】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中Ⅰ段階Aイ(イ)㊽】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみに付け製作加工をしようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう（基本技能試しによる小物製作）	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ※基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳B「礼儀、友情、信頼」
			(知及技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。【中Ⅰ段階Aア(ア)㊽】 (思判表力) 清掃時に自分の役割を考えることができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう ・1年間の振り返り	○ほうきとモップを使っでの清掃活動 ○作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ○清掃用具の手入れ ○材料、道具類の整理整頓 ○作業の振り返りと発表	道徳C「勤労、公共の精神」
留意点			※生徒の興味関心や学習の進捗状況に応じて、工芸の製作を校内美化や地域散策、ボランティア活動に置き換えて実施する。 ※将来の職業生活や家庭生活を意識できるような活動を適時取り入れる。 ※生徒の実態に応じて活動の題材を決める。 ※各生徒の目標は、合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。（小学部生活科（ケきまり、キ手伝い・仕事、ク金銭の扱い、エ遊び、オ人との関わり、カ役割）Ⅰ段階～3段階、中学部職業・家庭Ⅰ段階～2段階）				
評価方法			評価の観点も含めて評価方法とします。・授業に対する取組む姿勢、意欲、態度（挨拶・報告） ・その他教科に応じた評価方法				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	2学年 Ⅱ課程A(5名)、B(2名)		せいかつの図鑑

			(知及び技) 知識及び技能	・働くことについて関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする(中Ⅰ段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	・将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定、実践し報告する等、課題を解決する力を養う(中Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	・よりよい職業生活の実現に向けて、作業遂行のため工夫し考えようとする実践的な態度を養う(中Ⅰ段階)			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3～	(知及び技) 働くことの目的などを知ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学) 作業で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	・オリエンテーション ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング ※授業の始めと終わり	ミーティング内容(毎時) ○入退室時のあいさつ ※正しいあいさつとは ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ※自分の「役割」と「責任」 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題	道徳「みんなのためのきまり」
	5月 ～ 7月	30	(知及び技) 職業生活に必要な知識や技能について知ること。【中Ⅰ段階Aイ(ア)㉗】 (思判表力) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること。【中Ⅰ段階Aイ(ア)㉘】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている。 (思・判・表) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ろうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	・製作工程を知る ・係分担を知る ・家庭で出る廃油について知る ・SDGsをやる(自分ができること) ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ○職業環境を整える ※正しい清掃の仕方 (机拭き(洗う・絞る・拭く)) ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	社会「SDGs」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」 生活「掃除」
			(知及び技) 製作の基本的な加工技術を知る。【中Ⅰ段階Aイ(ア)㉙】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組むことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 製作の基本的な加工技術を知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸作品を知る	○ミーティング ※正しい清掃の仕方 (ほうき(はく方向・塵取り)) ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」
			(知及び技) 業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中Ⅰ段階Aイ(ア)㉚】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中Ⅰ段階Aイ(イ)㉛】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみに付け製作加工をしようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう(基本技能 試しによる小物製作) ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ※正しい清掃の仕方 (モップ(洗う・絞る・拭く)) ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ※基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」
	9月	12	(知及び技) 働くことの目的などを知ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学) 作業で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	・一学期の振り返り ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング ※授業の始めと終わり	ミーティング内容(毎時) ○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題 ※正しい清掃の仕方 (自分が得意なもの)	数学「個数」 生活「掃除」 道徳A「個性の伸長」

2 学 期	10月 ～ 12月	39	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑤】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中Ⅰ段階Aイ(イ)④】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳A「個性の伸長」	
			(知及技) 製作の基本的な加工技術を知る。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑦】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組むことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 製作の基本的な加工技術を知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「長さ」「単位」 「個数」 道徳A「希望と勇氣、努力と強い意志」	
			(知及技) 作業の持続性や巧緻性などをみに付けること。【中Ⅰ段階Aイ(ア)④】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中Ⅰ段階Aイ(イ)④】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみに付け製作加工をしようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう（基本技能 試しによる小物製作）	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ＊基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳A「希望と勇氣、努力と強い意志」	
3 学 期	2月 ～ 3月	15	1月 6	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知り、活用できているか製作を通して気づくことができる。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑦】 (思判表力) 愛汗祭に向けて、必要な健康管理について気づくことができる。【中Ⅰ段階Aイ(イ)⑦】 (学・人) 働くことの目的などを知ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知り、活用できているか製作を通して気づけている。 (思・判・表) 愛汗祭に向けて、必要な健康管理について気づけている。 (主学) 働くことの目的などを知ろうとしている。	・二学期の振り返り ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング ＊授業の始めと終わり	○ミーティング ○二学期の振り返り 作業内容確認 ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ＊基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳B「礼儀、友情、信頼」
				(知及技) 作業の持続性や巧緻性などをみに付けること。【中Ⅰ段階Aア(ア)④】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中Ⅰ段階Aイ(イ)④】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみに付け製作加工をしようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう（基本技能 試しによる小物製作）	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ＊基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳B「礼儀、友情、信頼」
				(知及技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。【中Ⅰ段階Aア(ア)⑦】 (思判表力) 清掃時に自分の役割を考えることができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう ・1年間の振り返り	○ほうきとモップを使っでの清掃活動 ○作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ○清掃用具の手入れ ○材料、道具類の整理整頓 ○作業の振り返りと発表	道徳C「勤労、公共の精神」
留意点			※生徒の興味関心や学習の進捗状況に応じて、工芸の製作を校内美化や地域散策、ボランティア活動に置き換えて実施する。 ※将来の職業生活や家庭生活を意識できるような活動を適時取り入れる。 ※生徒の実態に応じて活動の題材を決める。 ※各生徒の目標は、合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。（小学部生活科（ケきまり、キ手伝い・仕事、ク金銭の扱い、エ遊び、オ人との関わり、カ役割）Ⅰ段階～3段階、中学部職業・家庭Ⅰ段階）					
評価方法			評価の観点も含めて評価方法とします。・授業に対する取組む姿勢、意欲、態度（挨拶・報告） ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	3学年 Ⅱ課程A(7名)、B(1名)		せいかつの図鑑

年間目標		(知及び技) 知識及び技能		・働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中2段階)			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		・将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中2段階)			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		・将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(中2段階)			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3～	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くようとしている。 (主学) 作業で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	・オリエンテーション ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング ※授業の始めと終わり	ミーティング内容(毎時) ○入退室時のあいさつ ※正しいあいさつとは ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等※自分の「役割」と「責任」 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるように話題	道徳「みんなのためのきまり」
	5月～7月	30	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ること。【中1段階A(イ)(ア)⑦】 (思判表力) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること。【中1段階A(イ)(ア)⑧】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている。 (思・判・表) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ろうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	・製作工程を知る ・係分担を知る ・家庭で出る廃油について知る ・SDGsをやる(自分ができること) ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ○職業環境を整える ※正しい清掃の仕方(机拭き(洗う・絞る・拭く)) ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	社会「SDGs」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」 生活「掃除」
			(知及技) 材料や加工物等の特性や扱い方及び加工製作活動等に関わる基礎的な技術について理解すること。【中2段階A(イ)(ア)⑨】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組むことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 材料や加工物等の特性や扱い方及び加工製作活動等に関わる基礎的な技術について理解しようとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸作品を知る	○ミーティング ※正しい清掃の仕方(ほうき(はく方向・塵取り)) ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」
			(知及技) 課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)(ア)⑩】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中1段階A(イ)⑪】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみにつけて製作加工をしようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組みようとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう(基本技能試しによる小物製作) ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ※正しい清掃の仕方(モップ(洗う・絞る・拭く)) ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ※基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」

2 学 期	9月 ～ 12月	12	(知及技) 働くことの目的などを理解することができる。【中2段階Aア(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。【中2段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階Aア(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを理解しようとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えている。 (主学) 製作等で達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子等	・一学期の振り返り ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング *授業の始めと終わり	ミーティング内容(毎時) ○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題 *正しい清掃の仕方 (自分が得意なもの)	数学「個数」 生活「掃除」
		39	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。【中2段階Aイ(ア)㊟】 (思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。【中2段階Aイ(イ)㊦】 (学・人) 製作等で達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階Aア(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解しようとしている。 (思・判・表) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。 (主学) 製作等で達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳A「個性の伸長」
			(知及技) 職業生活に必要な知識や技能を理解することができる。【2段階Aイ(ア)㊦】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。【2段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階Aア(ウ)】	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能を理解しようとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えること。 (主学) 製作等で達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「長さ」「単位」 「個数」 道徳A「希望と勇氣、努力と強い意志」
	1月	6	(知及技) 作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。【中2段階Aイ(ア)㊦】 (思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。【中2段階Aイ(イ)㊦】 (学・人) 製作等で達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階Aア(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみに付け製作加工をしようとしている。 (思・判・表) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。 (主学) 製作等で達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう(基本技能試しによる小物製作)	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり *基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳A「希望と勇氣、努力と強い意志」
			(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解することができる。【中2段階Aイ(ア)㊦】 (思判表力) 愛汗祭に向けて、職業生活に必要な健康管理について考えることができる。【中2段階Aイ(イ)㊦】 (学・人) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階Aア(ア)】	(知・技) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解しようとしている。 (思・判・表) 愛汗祭に向けて、職業生活に必要な健康管理について考えようとしている。 (主学) 働くことの目的などを知らうとしている。	・二学期の振り返り ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング *授業の始めと終わり	○ミーティング ○二学期の振り返り 作業内容確認 ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり *基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳B「礼儀、友情、信頼」

3 学 期	2月 ～ 3月	15	（知及技）作業の持続性や巧緻性を身に付けること。【中2段階Aイ(ア)㉔】 （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫すること。【中2段階Aイ(イ)㉕】 （学・人）製作等で達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中2段階Aア(ウ)】	（知・技）決められた時間、作業の持続性や巧緻性などを身に付け製作加工をしようとしている。 （思・判・表）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。 （主学）製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう（基本技能試しによる小物製作）	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ＊基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳B「礼儀、友情、信頼」
			（知及技）校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。【中1段階Aア(ア)】 （思判表力）清掃時に自分の役割を考えることができる。【中1段階Aア(イ)】 （学・人）自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。【中1段階Aア(ウ)】	（知・技）清掃する場所を理解しようとしている。 （思・判・表）提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 （主学）自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう ・1年間の振り返り	○ほうきとモップを使っでの清掃活動 ○作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ○清掃用具の手入れ ○材料、道具類の整理整頓 ○作業の振り返りと発表	道徳C「勤労、公共の精神」
留意点			※生徒の興味関心や学習の進捗状況に応じて、工芸の製作を校内美化や地域散策、ボランティア活動に置き換えて実施する。 ※将来の職業生活や家庭生活を意識できるような活動を適時取り入れる。 ※生徒の実態に応じて活動の題材を決める。 ※各生徒の目標は、合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。（小学部生活科（ケきまり、キ手伝い・仕事、ク金銭の扱い、エ遊び、オ人との関わり、カ役割）1段階～3段階、中学部職業・家庭1段階～2段階）				
評価方法			評価の観点も含めて評価方法とします。 ・授業に対する取組む姿勢、意欲、態度（挨拶・報告） ・その他教科に応じた評価方法				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	3学年 Ⅱ課程A(7名)、B(1名)		せいかつの図鑑

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	・働くことについて関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする (中Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	・将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定、実践し報告する等、課題を解決する力を養う(中Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	・よりよい職業生活の実現に向けて、作業遂行のため工夫し考えようとする実践的な態度を養う(中Ⅰ段階)			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3～	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学) 作業で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	・オリエンテーション ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング ※授業の始めと終わり	ミーティング内容(毎時) ○入退室時のあいさつ ※正しいあいさつとは ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等※自分の「役割」と「責任」 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題	道徳「みんなのためのきまり」
			(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ること。【中Ⅰ段階Ai(ア)㉞】 (思判表力) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること。【中Ⅰ段階Ai(ア)㉟】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている。 (思・判・表) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ろうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	・製作工程を知る ・係分担を知る ・家庭で出る廃油について知る ・SDGs をする(自分ができること) ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ○職業環境を整える ※正しい清掃の仕方 (机拭き(洗う・絞る・拭く)) ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	社会「SDGs」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」 生活「掃除」
	5月 ～ 7月	30	(知及技) 製作の基本的な加工技術を知る。【中Ⅰ段階Ai(ア)㉞】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組むことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 製作の基本的な加工技術を知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組もうとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸作品を知る	○ミーティング ※正しい清掃の仕方 (ほうき(はく方向・塵取り)) ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」
			(知及技) 業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中Ⅰ段階Ai(ア)㉞】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中Ⅰ段階Ai(イ)㉟】 (学・人) 製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみにつけ製作加工をしようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組みようとしている。 (主学) 製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう(基本技能試しによる小物製作) ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ※正しい清掃の仕方 (モップ(洗う・絞る・拭く)) ①模倣遊び ②廃油パックづくり ③ノートづくり ※基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳C「家族愛、家庭生活の充実」、A「個性の伸長」

2 学 期	9月	12	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人)製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知らうとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学)作業で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	・一学期の振り返り ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング *授業の始めと終わりに	ミーティング内容(毎時) ○入退室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得、服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題 *正しい清掃の仕方 (自分が得意なもの)	数学「個数」 生活「掃除」
	10月 ～ 12月	39	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑤】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中Ⅰ段階Aイ(イ)④】 (学・人)製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。 (主学)製作や役割活動で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油バックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」 生活「掃除」 道徳A「個性の伸長」
			(知及技) 製作の基本的な加工技術を知る。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑥】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組むことができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 (学・人)製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 製作の基本的な加工技術を知ろうとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づき取り組もうとしている。 (主学)製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・製作工程を知る ・係分担を知る ・工芸製作で使用する道具の扱い方を知る	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油バックづくり ③ノートづくり ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「長さ」「単位」 「個数」 道徳A「希望と勇氣、努力と強い意志」
			(知及技) 作業の持続性や巧緻性などをみに付けること。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑦】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中Ⅰ段階Aイ(イ)④】 (学・人)製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	(知・技) 決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみに付け製作加工をしようとしている。 (思・判・表)作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組もうとしている。 (主学)製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう(基本技能試しによる小物製作)	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油バックづくり ③ノートづくり *基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳A「希望と勇氣、努力と強い意志」
	1月	6	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知り、活用できているか製作を通して気づくことができる。【中Ⅰ段階Aイ(ア)⑦】 (思判表力)愛汗祭に向けて、必要な健康管理について気づくことができる。【中Ⅰ段階Aイ(イ)④】 (学・人)働くことの目的などを知ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知り、活用できているか製作を通して気づけている。 (思・判・表)愛汗祭に向けて、必要な健康管理について気づけている。 (主学)働くことの目的などを知らうとしている。	・二学期の振り返り ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために 年間を通して ・ミーティング *授業の始めと終わりに	○ミーティング ○二学期の振り返り 作業内容確認 ①模倣遊び ②廃油バックづくり ③ノートづくり *基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳B「礼儀、友情、信頼」

3 学 期	2月 ～ 3月	15	（知及技）作業の持続性や巧緻性などをみに付けること。【中Ⅰ段階Aア(ア)④】 （思判表力）作業に当たり安全や衛生に気づき工夫している。【中Ⅰ段階Aイ(イ)④】 （学・人）製作等で達成感を得ることができる。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	（知・技）決められた時間、作業の持続性や巧緻性などをみに付け製作加工をしようとしている。 （思・判・表）作業に当たり安全や衛生に気づき工夫し取り組みもうとしている。 （主学）製作や役割活動で達成感を得ようとしている。	・材料と加工 工芸製品を作ろう（基本技能試しによる小物製作）	○ミーティング ①模倣遊び ②廃油バックづくり ③ノートづくり ＊基本技能 ④張り子 ⑤染色 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施	数学「個数」「値段」 道徳B「礼儀、友情、信頼」
			（知及技）校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。【中Ⅰ段階Aア(ア)】 （思判表力）清掃時に自分の役割を考えることができる。【中Ⅰ段階Aア(イ)】 （学・人）自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。【中Ⅰ段階Aア(ウ)】	（知・技）清掃する場所を理解しようとしている。 （思・判・表）提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 （主学）自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう ・1年間の振り返り	○ほうきとモップを使っでの清掃活動 ○作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ○清掃用具の手入れ ○材料、道具類の整理整頓 ○作業の振り返りと発表	道徳C「勤労、公共の精神」
留意点			※生徒の興味関心や学習の進捗状況に応じて、工芸の製作を校内美化や地域散策、ボランティア活動に置き換えて実施する。 ※将来の職業生活や家庭生活を意識できるような活動を適時取り入れる。 ※生徒の実態に応じて活動の題材を決める。 ※各生徒の目標は、合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。（小学部生活科（ケきまり、キ手伝い・仕事、ク金銭の扱い、エ遊び、オ人との関わり、カ役割）Ⅰ段階～3段階、中学部職業・家庭Ⅰ段階～2段階）				
評価方法			評価の観点も含めて評価方法とします。・授業に対する取組む姿勢、意欲、態度（挨拶・報告） ・その他教科に応じた評価方法				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	1学年 A(5名)B(3名)		なし

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	働くことについて関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする（中Ⅰ段階）			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定、実践し報告する等、課題を解決する力を養う（中Ⅰ段階）			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	よりよい職業生活の実現に向けて、作業遂行のため工夫し考えようとする実践的な態度を養う（中Ⅰ段階）			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	3	(知及技) 働く目的を知ることができる。（Ⅰ段階Aア(ア)） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 働く目的を知ろうとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・オリエンテーション ・あいさつをしよう ・働くために ・報告・連絡・相談 ・教室の使い方	・職業科（家庭班）で取り扱う内容を確認して学習の見通しを立てる。 ・将来したいことを考え、実現の手段として働くことがあることを知る。 ・役割分担のある作業を通して、実習の練習を行う。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	5月	9	(知及技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。（Ⅰ段階Aイ(ア)㊸） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ろうとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう（販売品の育成）」	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	6月	12	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。（Ⅰ段階Aイ(ア)㊸） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう（販売品の育成）」	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	7月	9	(知及技) 作業の持続性や巧緻性を身に着けることができる。（Ⅰ段階Aイ(ア)㊸） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 作業の持続性や巧緻性を身に着けようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう（販売品の育成）」 ・Ⅰ学期振り返り	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
2 学期	9月	12	(知及技) 働く目的を知ることができる。（Ⅰ段階Aア(ア)） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 働く目的を知ろうとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう（販売品の育成）」 展示祭に向けて冬野菜（農作物）の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」

10月	12	(知及技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(1段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ろうとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 展示祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	15	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(1段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 展示祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	12	(知及技) 作業の持続性や巧緻性を身に着けることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(1段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 作業の持続性や巧緻性を身に着けようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	6	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。(1段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている。 (思・判・表) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	9	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付くことができる。(1段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割を考えようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	6	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 職業生活に必要な健康管理について気付くことができる。(2段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割を考えようとしている。 (思・判・表) 職業生活に必要な健康管理について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成 1年間の振り返りと次年度の取り組み	・自分の農作業を覚えよう 夏野菜(農作物)の育成	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
留意点引継等						
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・その他教科に応じた評価方法				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	2学年 A(4名)B(2名)		なし

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	・働くことについて関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする（中Ⅰ段階）			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	・将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定、実践し報告する等、課題を解決する力を養う（中Ⅰ段階）			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	・よりよい職業生活の実現に向けて、作業遂行のため工夫し考えようとする実践的な態度を養う（中Ⅰ段階）			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	3	(知及び技) 働く目的を知ることができる。（Ⅰ段階Aア(ア)） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 働く目的を知ろうとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・オリエンテーション ・あいさつをしよう ・働くために ・報告・連絡・相談 ・教室の使い方	・職業科（家庭班）で取り扱う内容を確認して学習の見通しを立てる。 ・将来したいことを考え、実現の手段として働くことがあることを知る。 ・役割分担のある作業を通して、実習の練習を行う。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	5月	9	(知及び技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。（Ⅰ段階Aイ(ア)㊸） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ろうとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう（販売品の育成）」	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	6月	12	(知及び技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。（Ⅰ段階Aイ(ア)㊸） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう（販売品の育成）」	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	7月	9	(知及び技) 作業の持続性や巧緻性を身に着けることができる。（Ⅰ段階Aイ(ア)㊸） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 作業の持続性や巧緻性を身に着けようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう（販売品の育成）」 ・Ⅰ学期振り返り	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
2 学期	9月	12	(知及び技) 働く目的を知ることができる。（Ⅰ段階Aア(ア)） (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（Ⅰ段階Aア(イ)） (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 働く目的を知ろうとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう（販売品の育成）」 展示祭に向けて冬野菜（農作物）の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」

	10月	12	(知及技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊟) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ろうとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 展示祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	11月	15	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊟) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 展示祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	12月	12	(知及技) 作業の持続性や巧緻性などを身に着けることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊟) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 作業の持続性や巧緻性などを身に着けようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	3学期 1月	6	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊟) (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊟) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている。 (思・判・表) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	2月	9	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊟) (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付くことができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊟) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割を考えようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	3月	6	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊟) (思判表力) 職業生活に必要な健康管理について気付くことができる。(2段階Aイ(イ)㊟) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割を考えようとしている。 (思・判・表) 職業生活に必要な健康管理について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成 1年間の振り返りと次年度の取り組み	・自分の農作業を覚えよう 夏野菜(農作物)の育成	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
留意点 引継等							
評価方法			評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・その他教科に応じた評価方法				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	A(6名)B(2名)		なし

年間目標		(知及び技)知識及び技能		・働くことについて関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする(中Ⅰ段階)			
		(思判表力)思考力、判断力、表現力等		・将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定、実践し報告する等、課題を解決する力を養う(中Ⅰ段階)			
		(学・人)学びに向かう力、人間性		・よりよい職業生活の実現に向けて、作業遂行のため工夫し考えようとする実践的な態度を養う(中Ⅰ段階)			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	3	(知及び技)働く目的を知ることができる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技)働く目的を知ろうとしている。 (思・判・表)提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学)作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・オリエンテーション ・あいさつをしよう ・働くために ・報告・連絡・相談 ・教室の使い方	・職業科(家庭班)で取り扱う内容を確認して学習の見通しを立てる。 ・将来したいことを考え、実現の手段として働くことがあることを知る。 ・役割分担のある作業を通して、実習の練習を行う。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	5月	9	(知及び技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊦) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ろうとしている。 (思・判・表)提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学)作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	6月	12	(知及び技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊦) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表)提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学)作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	7月	9	(知及び技)作業の持続性や巧緻性を身に着けることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊦) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技)作業の持続性や巧緻性を身に着けようとしている。 (思・判・表)提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学)作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 ・Ⅰ学期振り返り	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
Ⅱ 学期	9月	12	(知及び技)働く目的を知ることができる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技)働く目的を知ろうとしている。 (思・判・表)提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学)作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 展示祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」

10月	12	(知及技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(1段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ろうとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 展示祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」	
	11月	15	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(1段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 展示祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	12月	12	(知及技) 作業の持続性や巧緻性を身に着けることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(1段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 作業の持続性や巧緻性を身に着けようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気付き、実習を進めようとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
3学期	1月	6	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。(1段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている。 (思・判・表) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	2月	9	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付くことができる。(1段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割を考えようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成	・自分の農作業を覚えよう ・農作業を分業して、自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 ・野菜の検品や仕分け袋詰めができるように実習を行う ・販売学習	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
	3月	6	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 職業生活に必要な健康管理について気付くことができる。(2段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割を考えようとしている。 (思・判・表) 職業生活に必要な健康管理について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等を自分なりに工夫して達成しようとしている。	・生物育成 単元2「農作物をつくろう(販売品の育成)」 校内実習、愛汗祭に向けて冬野菜(農作物)の育成 1年間の振り返りと次年度の取り組み	・自分の農作業を覚えよう 夏野菜(農作物)の育成	理「季節と生き物」 道「生命尊重」 美「自然環境デザイン～校内～」
留意点 引継等							
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	1 学年 (A 5 名) (B 3 名)		なし

年間目標			(知及技) 知識及び技能	生活や職業に対して関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につけるようにする。(中Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	将来の職業生活に必要な事柄に触れ、課題や解決策に気づき、実践し、自分なりに解決しようとする力を養う。(中Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4 月	6	(知及技) 働く目的を知ることができる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力) 実習時に自分の役割を気づくことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人) 働く目的や実習で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 働く目的を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気づくことができる。 (主学) 働く目的や実習で達成感を得様とすることができる。	・オリエンテーション ・あいさつをしよう ・働くために ・報告・連絡・相談 ・教室の使い方	・職業実習(縫工班)で取り扱う内容を確認して学習の見通しを立てる。 ・将来したいことを考え、実現の手段として働くことがあることを知る。 ・役割分担のある作業を通して、実習の練習を行う。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	4 月 5 月	18	(知及技) 用具を安全に使用するのに慣れることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)エ) (思判表力) 手縫いの基礎縫い、ミシンの直線縫い等の技術について知ることができる。・簡単な小物の作り方を知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)ウ) (学・人) 興味・関心を持って手縫いの練習を行う事ができる。興味・関心を持って小物作りができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)イ)	(知・技) 用具を安全に使用するのに慣れようとしている。 (思・判・表) 手縫いの基礎縫い、ミシンの直線縫い等の技術について知ろうとしている。・簡単な小物の作り方を知ろうとしている。 (主学) 興味・関心を持って手縫いの練習をしようとしている。・興味・関心を持って小物作りをしようとしている。	・基礎縫い ・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・用具の名前を知り、安全な使い方を知る。 ・基礎縫い(玉結び、玉どめ、なみ縫い、ミシン直線縫い、ボタン付け)を繰り返し行い、商品製作に取り組んでいけるようにする。 ・布や紙をボンドなどを使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	6 月	14	(知及技) 基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦することができる。簡単な小物作りの方法を知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)エ) (思判表力) 用具の扱い方に慣れて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)エ) (学・人) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦しようとしている。・簡単な小物作りの方法を知ろうとしている。 (思・判・表) 用具の扱い方に慣れて作業をしようとしている。 (主学) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けようとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・布や紙をボンドなどを使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」

2 学 期	7月	13	(知及技)基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦することができる。(1段階AI(ア)エ) (思判表力)用具の扱い方に慣れて作業ができる。(1段階AI(ア)エ) (学・人)商品製作に必要な作業の持続力を身に付けることができる。(1段階AI(ア)オ)	(知・技)基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦しようとしている。・簡単な小物作りをする。 (思・判・表)用具の扱い方に慣れて作業をしようとしている。 (主学)商品製作に必要な作業の持続力を身に付けてようとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨) ・1学期の振り返り	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	9月	13	(知及技)針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。・小物作りで自分の得意な作業を見つけることができる。(1段階AI(ア)オ) (思判表力)安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(1段階AI(イ)ア) (学・人)商品製作に必要な作業の持久力を身に付けることができる。(1段階AI(ア)オ)	(知・技)針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。・小物作りで自分の得意な作業を見つけることができる。 (思・判・表)安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学)商品製作に必要な作業の持続力を身に付けてようとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・役割分担を決めよう ・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	10月	14	(知及技)針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。・小物作りで自分の得意な作業を見つけることができる。(1段階AI(ア)オ) (思判表力)安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(1段階AI(イ)ア) (学・人)商品製作に必要な作業の持久力を身に付けることができる。(1段階AI(ア)オ)	(知・技)針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表)安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学)自ら進んで商品製作に取り組もうとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	11月	12	(知及技)針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。(1段階AI(ア)オ) (思判表力)安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(1段階AI(イ)ア) (学・人)商品製作に必要な作業の持久力を身に付けることができる。(1段階AI(ア)オ)	(知・技)針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表)安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学)自ら進んで商品製作に取り組もうとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」

	12月	12	(知及技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。(2段階Aイ(ア)オ) (思判表力) 安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(2段階Aイ(イ)ア) (学・人) 自ら進んで商品製作に取り組むことができる。(2段階Aイ(イ)イ)	(知・技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表) 安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学) 自ら進んで商品製作に取り組もうとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨) ・2学期の振り返り	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
3学期	1月	13	(知及技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割に気づくことができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 職業生活を支える社会の仕組みがあることを知ることができる。 (1段階Aイ(ア)イ) (学・人) 職業や職業生活が、進路に関わることに気づくことができる。(1段階Cイ)	(知・技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割に気づこうとしている。 (思・判・表) 職業生活を支える社会の仕組みがあることを知ろうとしている。 (主学) 職業や職業生活が、進路に関わることに気づこうとしている。	・校内実習・愛汗祭に向けて取り組もう	・自分の役割を意識しながら実習を行っている。 商品の種類と数 ラッピング 値札はり 接客練習 会計の練習 販売時の役割分担	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	2月	13	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(1段階Aイ(ア)ア) (思判表力) 校内実習での成果や自己の成長について気づき、伝えることができる。(1段階Cイ) (学・人) 実習を振り返り、自身の課題に気づくことができる。(1段階Aイ(イ)ア)	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている(2段階Aイ(ア)㊦) (思・判・表) 校内実習での成果や自己の成長について気づき、伝えようとしている。(2段階Cイ) (主学) 実習を振り返り、自身の課題を意識して実習に取り組もうとしている。	・校内実習・愛汗祭を終えて	・校内実習の振り返り、実習の成果や自己の成長、課題、これから身に付けたい力などを確認して、他者へ発表していく。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	3月	12	(知及技) 基礎縫いの方法を活かし、縫うことに慣れることができる。・小物作りに慣れることができる。(1段階Aイ(ア)エ) (思判表力) もらってくれる人のことを考えながら、丁寧に作品作りができる。(1段階Aイ(ア)オ) (学・人) 基礎縫いを理解し、作り方を見て、活動に取り組むことができる。・雑貨を使った簡単な小物作りができる。(1段階Aイ(イ)ア)	(知・技) 基礎縫いの方法を活かし、縫うことに慣れようとしている。・小物作りに慣れようとしている。 (思・判・表) もらってくれる人のことを考えながら、丁寧に作品作りしようとしている。 (主学) 基礎縫いを理解し、作り方を見て、活動しようとしている。・雑貨を使った簡単な小物作りをしようとしている。	・小物製作(プレゼント作り) ・1年間の振り返り	・小物製作を通してプレゼントする人に感謝の気持ちを込めて製作できるように取り組ませる。 ・一年間を振り返って頑張ったことやできるようになったことを発表させる。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
留意点 引継等			※あいさつ、ミーティング、清掃指導は、通年を通して行う。				
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	2学年 A(4)名、B(2)		なし

年間目標		(知及び技)知識及び技能		生活や職業に対して関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につけるようにする。(中Ⅰ段階)			
		(思判表力)思考力、判断力、表現力等		将来の職業生活に必要な事柄に触れ、課題や解決策に気づき、実践し、自分なりに解決しようとする力を養う。(中Ⅰ段階)			
		(学・人)学びに向かう力、人間性		将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	6	(知及び技)働く目的を知ることができる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力)実習時に自分の役割を気づくことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人)働く目的や実習で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技)働く目的を理解しようとしている。 (思・判・表)提示された役割を気づくことができる。 (主学)働く目的や実習で達成感を得様とすることができる。	・オリエンテーション ・あいさつをしよう ・働くために ・報告・連絡・相談 ・教室の使い方	・職業実習(縫工班)で取り扱う内容を確認して学習の見通しを立てる。 ・将来したいことを考え、実現の手段として働くことがあることを知る。 ・役割分担のある作業を通して、実習の練習を行う。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	4月 5月	18	(知及び技)用具を安全に使用するのに慣れることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)エ) (思判表力)手縫いの基礎縫い、ミシンの直線縫い等の技術について知ることができる。・簡単な小物の作り方を知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)ウ) (学・人)興味・関心を持って手縫いの練習を行う事ができる。興味・関心を持って小物作りができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)イ)	(知・技)用具を安全に使用するのに慣れようとしている。 (思・判・表)手縫いの基礎縫い、ミシンの直線縫い等の技術について知ろうとしている。・簡単な小物の作り方を知ろうとしている。 (主学)興味・関心を持って手縫いの練習をしようとしている。・興味・関心を持って小物作りをしようとしている。	・基礎縫い ・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・用具の名前を知り、安全な使い方を知る。 ・基礎縫い(玉結び、玉どめ、なみ縫い、ミシン直線縫い、ボタン付け)を繰り返し行い、商品製作に取り組んでいけるようにする。 ・布や紙をボンドなどを使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	6月	14	(知及び技)基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦することができる。簡単な小物作りの方法を知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)エ) (思判表力)用具の扱い方に慣れて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)エ) (学・人)商品製作に必要な作業の持続力を身に付けることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)オ)	(知・技)基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦しようとしている。・簡単な小物作りの方法を知ろうとしている。 (思・判・表)用具の扱い方に慣れて作業をしようとしている。 (主学)商品製作に必要な作業の持続力を身に付けようとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ系取りをする。 ・アイロンをかける。 ・布や紙をボンドなどを使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」

	7月	13	(知及技) 基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦することができる。(1段階Aイ(ア)エ) (思判表力) 用具の扱い方に慣れて作業ができる。(1段階Aイ(ア)エ) (学・人) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けることができる。(1段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦しようとしている。・簡単な小物作りの方法を知ろうとしている。 (思・判・表) 用具の扱い方に慣れて作業をしようとしている。 (主学) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けようとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨) ・1学期の振り返り	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ系取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
2 学 期	9月	13	(知及技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。・小物作りで自分の得意な作業を見つけることができる。(1段階Aイ(ア)オ) (思判表力) 安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(1段階Aイ(イ)ア) (学・人) 商品製作に必要な作業の持久力を身に付けることができる。(1段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。・小物作りで自分の得意な作業を見つけることができる。 (思・判・表) 安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けようとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・役割分担を決めよう ・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ系取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	10月	14	(知及技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。・小物作りで自分の得意な作業を見つけることができる。(1段階Aイ(ア)オ) (思判表力) 安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(1段階Aイ(イ)ア) (学・人) 商品製作に必要な作業の持久力を身に付けることができる。(1段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表) 安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学) 自ら進んで商品製作に取り組もうとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ系取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	11月	12	(知及技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。(1段階Aイ(ア)オ) (思判表力) 安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(1段階Aイ(イ)ア) (学・人) 商品製作に必要な作業の持久力を身に付けることができる。(1段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表) 安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学) 自ら進んで商品製作に取り組もうとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ系取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」

	12月	12	(知及技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。(2段階Aイ(ア)オ) (思判表力) 安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(2段階Aイ(イ)ア) (学・人) 自ら進んで商品製作に取り組むことができる。(2段階Aイ(イ)イ)	(知・技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表) 安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学) 自ら進んで商品製作に取り組もうとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨) ・2学期の振り返り	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
3 学 期	1月	13	(知及技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割に気づくことができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 職業生活を支える社会の仕組みがあることを知ることができる。 (1段階Aイ(ア)イ) (学・人) 職業や職業生活が、進路に関わることに気づくことができる。(1段階Cイ)	(知・技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割に気づくようとしている。 (思・判・表) 職業生活を支える社会の仕組みがあることを知ろうとしている。 (主学) 職業や職業生活が、進路に関わることに気づくようとしている。	・校内実習・愛汗祭に向けて取り組もう	・自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 商品の種類と数 ラッピング 値札はり 接客練習 会計の練習 販売時の役割分担	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	2月	13	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(1段階Aイ(ア)ア) (思判表力) 校内実習での成果や自己の成長について気づき、伝えることができる。(1段階Cイ) (学・人) 実習を振り返り、自身の課題に気づくことができる。(1段階Aイ(イ)ア)	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている(2段階Aイ(ア)㊦) (思・判・表) 校内実習での成果や自己の成長について気づき、伝えようとしている。(2段階Cイ) (主学) 実習を振り返り、自身の課題を意識して実習に取り組もうとしている。	・校内実習・愛汗祭を終えて	・校内実習の振り返り、実習の成果や自己の成長、課題、これから身に付けたい力などを確認して、他者へ発表していく。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	3月	12	(知及技) 基礎縫いの方法を活かし、縫うことに慣れることができる。・小物作りに慣れることができる。 (1段階Aイ(ア)エ) (思判表力) もらってくれる人のことを考えながら、丁寧に作品作りができる。 (1段階Aイ(ア)オ) (学・人) 基礎縫いを理解し、作り方を見て、活動に取り組むことができる。・雑貨を使った簡単な小物作りができる。(1段階Aイ(イ)ア)	(知・技) 基礎縫いの方法を活かし、縫うことに慣れようとしている。・小物作りに慣れようとしている。 (思・判・表) もらってくれる人のことを考えながら、丁寧に作品作りしようとしている。 (主学) 基礎縫いを理解し、作り方を見て、活動しようとしている。・雑貨を使った簡単な小物作りをしようとしている。	・小物製作(プレゼント作り) ・1年間の振り返り	・小物製作を通してプレゼントする人に感謝の気持ちを込めて製作できるように取り組ませる。 ・一年間を振り返って頑張ったことやできるようになったことを発表させる。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
留意点 引継等			※あいさつ、ミーティング、清掃指導は、通年を通して行う。				
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	3学年 A(6名) B(2名)		なし

年間目標		(知及技) 知識及び技能		生活や職業に対して関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につけるようにする。(中Ⅰ段階)			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		将来の職業生活に必要な事柄に触れ、課題や解決策に気づき、実践し、自分なりに解決しようとする力を養う。(中Ⅰ段階)			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	6	(知及技) 働く目的を知ることができる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力) 実習時に自分の役割を気づくことができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人) 働く目的や実習で達成感を得ることができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 働く目的を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を気づくことができる。 (主学) 働く目的や実習で達成感を得様とすることができる。	・オリエンテーション ・あいさつをしよう ・働くために ・報告・連絡・相談 ・教室の使い方	・職業実習(縫工班)で取り扱う内容を確認して学習の見通しを立てる。 ・将来したいことを考え、実現の手段として働くことがあることを知る。 ・役割分担のある作業を通して、実習の練習を行う。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	4月 5月	18	(知及技) 用具を安全に使用するのに慣れることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)エ) (思判表力) 手縫いの基礎縫い、ミシンの直線縫い等の技術について知ることができる。・簡単な小物の作り方を知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)ウ) (学・人) 興味・関心を持って手縫いの練習を行う事ができる。興味・関心を持って小物作りができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)イ)	(知・技) 用具を安全に使用するのに慣れようとしている。 (思・判・表) 手縫いの基礎縫い、ミシンの直線縫い等の技術について知ろうとしている。・簡単な小物の作り方を知ろうとしている。 (主学) 興味・関心を持って手縫いの練習をしようとしている。・興味・関心を持って小物作りをしようとしている。	・基礎縫い ・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・用具の名前を知り、安全な使い方を知る。 ・基礎縫い(玉結び、玉どめ、なみ縫い、ミシン直線縫い、ボタン付け)を繰り返し行い、商品製作に取り組んでいけるようにする。 ・布や紙をボンドなどを使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	6月	14	(知及技) 基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦することができる。簡単な小物作りの方法を知ることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)エ) (思判表力) 用具の扱い方に慣れて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)エ) (学・人) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦しようとしている。・簡単な小物作りの方法を知ろうとしている。 (思・判・表) 用具の扱い方に慣れて作業をしようとしている。 (主学) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けようとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・布や紙をボンドなどを使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」

2 学 期	7月	13	(知及技) 基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦することができる。(1段階Aイ(ア)エ) (思判表力) 用具の扱い方に慣れて作業ができる。(1段階Aイ(ア)エ) (学・人) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けることができる。(1段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 基礎縫い、ミシンの直線縫いの方法を知り、作業に挑戦しようとしている。・簡単な小物作りの方法を知ろうとしている。 (思・判・表) 用具の扱い方に慣れて作業をしようとしている。 (主学) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けようとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨) ・1学期の振り返り	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	9月	13	(知及技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。・小物作りで自分の得意な作業を見つけることができる。(1段階Aイ(ア)オ) (思判表力) 安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(1段階Aイ(イ)ア) (学・人) 商品製作に必要な作業の持久力を身に付けることができる。(1段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。・小物作りで自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表) 安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学) 商品製作に必要な作業の持続力を身に付けようとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・役割分担を決めよう ・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	10月	14	(知及技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。・小物作りで自分の得意な作業を見つけることができる。(1段階Aイ(ア)オ) (思判表力) 安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(1段階Aイ(イ)ア) (学・人) 商品製作に必要な作業の持久力を身に付けることができる。(1段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表) 安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学) 自ら進んで商品製作に取り組もうとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	11月	12	(知及技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。(1段階Aイ(ア)オ) (思判表力) 安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(1段階Aイ(イ)ア) (学・人) 商品製作に必要な作業の持久力を身に付けることができる。(1段階Aイ(ア)オ)	(知・技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表) 安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学) 自ら進んで商品製作に取り組もうとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨)	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」

	12月	12	(知及技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけることができる。(2段階Aイ(ア)オ) (思判表力) 安全を意識し、報告・連絡・相談することができる。(2段階Aイ(イ)ア) (学・人) 自ら進んで商品製作に取り組むことができる。(2段階Aイ(イ)イ)	(知・技) 針やミシン等の用具の使い方に慣れ、自分の得意な作業を見つけようとしている。 (思・判・表) 安全を意識し、報告・連絡・相談をしようとしている。 (主学) 自ら進んで商品製作に取り組もうとしている。	・小物製作 (布製品・生活雑貨) ・2学期の振り返り	・布のしつけ縫いをする。 ・まち針を取り、針さしに刺す。 ・ミシンで直線縫いをする。 ・しつけ糸取りをする。 ・アイロンをかける。 ・日常の雑貨類を使って小物を製作する。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
3学期	1月	13	(知及技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割に気づくことができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 職業生活を支える社会の仕組みがあることを知ることができる。 (1段階Aイ(ア)イ) (学・人) 職業や職業生活が、進路に関わることに気づくことができる。(1段階Cイ)	(知・技) 実習内容の見通しを持ち、自分の役割を気づこうとしている。 (思・判・表) 職業生活を支える社会の仕組みがあることを知ろうとしている。 (主学) 職業や職業生活が、進路に関わることに気づこうとしている。	・校内実習・愛汗祭に向けて取り組もう	・自分の役割を意識しながら実習を行っていく。 商品の種類と数 ラッピング 値札はり 接客練習 会計の練習 販売時の役割分担	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	2月	13	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(1段階Aイ(ア)ア) (思判表力) 校内実習での成果や自己の成長について気づき、伝えることができる。(1段階Cイ) (学・人) 実習を振り返り、自身の課題に気づくことができる。(1段階Aイ(イ)ア)	(知・技) 職業生活に必要な知識や技能について知ろうとしている(2段階Aイ(ア)㊦) (思・判・表) 校内実習での成果や自己の成長について気づき、伝えようとしている。(2段階Cイ) (主学) 実習を振り返り、自身の課題を意識して実習に取り組もうとしている。	・校内実習・愛汗祭を終えて	・校内実習の振り返り、実習の成果や自己の成長、課題、これから身に付けたい力などを確認して、他者へ発表していく。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
	3月	12	(知及技) 基礎縫いの方法を活かし、縫うことに慣れることができる。・小物作りに慣れることができる。 (1段階Aイ(ア)エ) (思判表力) もらってくれる人のことを考えながら、丁寧に作品作りができる。 (1段階Aイ(ア)オ) (学・人) 基礎縫いを理解し、作り方を見て、活動に取り組むことができる。・雑貨を使った簡単な小物作りができる。(1段階Aイ(イ)ア)	(知・技) 基礎縫いの方法を活かし、縫うことに慣れようとしている。・小物作りに慣れようとしている。 (思・判・表) もらってくれる人のことを考えながら、丁寧に作品作りしようとしている。 (主学) 基礎縫いを理解し、作り方を見て、活動しようとしている。・雑貨を使った簡単な小物作りをしようとしている。	・小物製作(プレゼント作り) ・1年間の振り返り	・小物製作を通してプレゼントする人に感謝の気持ちを込めて製作できるように取り組ませる。 ・一年間を振り返って頑張ったことやできるようになったことを発表させる。	道徳「社会への奉仕」 道徳「みんなのためのきまり」 社会「働く人と私たちの暮らし」
留意点 引継等		※あいさつ、ミーティング、清掃指導は、通年を通して行う。					
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	I学年 A(6名) B(3名)		なし

			(知及び技) 知識及び技能	・働くことについて関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする（中Ⅰ段階）			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	・将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定、実践し報告する等、課題を解決する力を養う（中Ⅰ段階）			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	・よりよい職業生活の実現に向けて、作業遂行のため工夫し考えようとする実践的な態度を養う（中Ⅰ段階）			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3	(知及技) 働く目的を知ることができる。（Ⅰ段階Aア(ア)） (思判表力) 将来自立のため必要なことを考える、学習したことを伝えることができる。（Ⅰ段階Aイ） (学・人) 働くことを知り、生活を工夫する態度を養う。（Ⅰ段階ウ）	(知・技) 働く目的を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して実習を進めようとしている。 (主学) 働く目的や実習時の役割を進んで知ろうとする。 木材の基本的な加工技術を理解しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・オリエンテーション ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために	・身なりを整え、作業場でのルールを守る。 ・安全面を確認して製作実習に取り組んでいく。	道徳「みんなのためのきまり」
	5月	9	(知及技) 木材の基本的な加工技術を知ることができる。（Ⅰ段階Aア(ア)） (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。（Ⅰ段階Aイ(イ)） (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 木材の基本的な加工技術を理解しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・木工製作で使用する道具の扱い方	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的加工を体験する。	数学「長さ」「単位」
	6月	12	(知及技) 木材の基本的な加工技術を知ることができる。（Ⅰ段階Aア(ア)） (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。（Ⅰ段階Aイ(イ)） (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 木材の基本的な加工技術を理解しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・木工製作で使用する道具の扱い方	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的加工を体験する。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数「長さ」「単位」
	7月	9	(知及技) 複数種類の作業を進めることができる。（Ⅰ段階Aイ(ア)） (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。（Ⅰ段階Aイ(イ)） (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 40分間、作業に集中して丁寧に材料を加工しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて工夫して作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・材料と加工 木工製品を作ろう (基本技能試しによる小物製作)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的木材加工に取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」
	9月	12	(知及技) 複数種類の作業を進めることができる。（Ⅰ段階Aイ(ア)） (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。（Ⅰ段階Aイ(イ)） (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。（Ⅰ段階Aア(ウ)）	(知・技) 40分間、作業に集中して丁寧に材料を加工しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて工夫して作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・材料と加工 木工製品を作ろう (基本技能試しによる小物製作) ・販売用の木工製作（お盆・ペン立て等）	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的木材加工に取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」

2 学 期	10月	12	(知・技) 指定された作業および作業および部品個数を製作することができる。(1段階Aイ(ア)㊟) (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。 (1段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。 (1段階Aア(ウ))	(知・技) 指定された作業および部品個数で製作しようとしている。 (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・販売用の木工製作 (お盆・ペン立て等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」
	11月	15	(知・技) 指定された作業および作業および部品個数を製作することができる。(1段階Aイ(ア)㊟) (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。 (1段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。 (1段階Aア(ウ))	(知・技) 指定された作業および部品個数で製作しようとしている。 (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・販売用の木工製作 (お盆・ペン立て等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」
	12月	12	(知・技) 指定された作業および作業および部品個数を製作することができる。(1段階Aイ(ア)㊟) (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。 (1段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。 (1段階Aア(ウ))	(知・技) 指定された作業および部品個数で製作しようとしている。 (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・販売用の木工製作 (お盆・ペン立て等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」「値段」
3 学 期	1月	6	(知・技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。(1段階Aア(ア)) (思・判・表) 清掃時に自分の役割を考えることができる。(1段階Aア(イ)) (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・販売用の木工製作 (お盆・ペン立て等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」「値段」
	2月	9	(知・技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。(1段階Aア(ア)) (思・判・表) 清掃時に自分の役割を考えることができる。(1段階Aア(イ)) (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう	・ほうきとモップを使つての清掃活動 ・作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ・清掃用具の手入れ ・材料、道具類の整理整頓	
	3月	6	(知・技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。(1段階Aア(ア)) (思・判・表) 清掃時に自分の役割を考えることができる。(1段階Aア(イ)) (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。(1段階Aア(ウ))	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう ・1年間の振り返り	・ほうきとモップを使つての清掃活動 ・作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ・清掃用具の手入れ ・材料、道具類の整理整頓 ・作業の振り返りと発表	
留意点							
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。・授業に対する取組む姿勢、意欲、態度(挨拶・報告) ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	2学年 A(3名) B(3名)		なし

			(知及び技) 知識及び技能	・働くことについて関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする (中Ⅰ段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	・将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定、実践し報告する等、課題を解決する力を養う (中Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	・よりよい職業生活の実現に向けて、作業遂行のため工夫し考えようとする実践的な態度を養う (中Ⅰ段階)			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3	(知及技) 働く目的を知ることができる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力) 将来自立のため必要なことを考える、学習したことを伝えることができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 働くことを知り、生活を工夫する態度を養う。(Ⅰ段階ウ)	(知・技) 働く目的を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して実習を進めようとしている。 (主学) 働く目的や実習時の役割を進んで知ろうとする。 木材の基本的な加工技術を理解しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・オリエンテーション ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために	・身なりを整え、作業場でのルールを守る。 ・安全面を確認して製作実習に取り組んでいく。	道徳「みんなのためのきまり」
	5月	9	(知及技) 木材の基本的な加工技術を知ることができる。(Ⅰ段階A(ア)㉠) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㉠) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 木材の基本的な加工技術を理解しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・木工製作で使用する道具の扱い方	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的加工を体験する。	数学「長さ」「単位」
	6月	12	(知及技) 木材の基本的な加工技術を知ることができる。(Ⅰ段階A(ア)㉠) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㉠) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 木材の基本的な加工技術を理解しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・木工製作で使用する道具の扱い方	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的加工を体験する。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」
	7月	9	(知及技) 複数種類の作業を進めることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㉡) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㉠) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 40分間、作業に集中して丁寧に材料を加工しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて工夫して作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・材料と加工 木工製品を作ろう (基本技能試しによる小物製作)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的な木材加工に取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」
Ⅱ学期	9月	12	(知及技) 複数種類の作業を進めることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㉡) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㉠) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 40分間、作業に集中して丁寧に材料を加工しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考えて工夫して作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・材料と加工 木工製品を作ろう (基本技能試しによる小物製作) ・販売用の木工製作 (マグネット等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的な木材加工に取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」

	10月	12	(知及技) 指定された作業および作業および部品個数を製作することができる。 (Ⅰ段階Aイ(ア)㊥) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 指定された作業および部品個数で製作しようとしている。 (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・販売用の木工製作 (マグネット等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」 「個数」
	11月	15	(知及技) 指定された作業および作業および部品個数を製作することができる。 (Ⅰ段階Aイ(ア)㊥) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 指定された作業および部品個数で製作しようとしている。 (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・販売用の木工製作 (マグネット等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」 「個数」
	12月	12	(知及技) 指定された作業および作業および部品個数を製作することができる。 (Ⅰ段階Aイ(ア)㊥) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 指定された作業および部品個数で製作しようとしている。 (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行うようとしている。	・販売用の木工製作 (マグネット等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」 「個数」「値段」
3 学 期	1月	6	(知及技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力) 清掃時に自分の役割を考えることができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・販売用の木工製作 (マグネット等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」 「個数」「値段」
	2月	9	(知及技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力) 清掃時に自分の役割を考えることができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう	・ほうきとモップを使っての清掃活動 ・作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ・清掃用具の手入れ ・材料、道具類の整理整頓	
	3月	6	(知及技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力) 清掃時に自分の役割を考えることができる。(Ⅰ段階Aア(イ)) (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう ・1年間の振り返り	・ほうきとモップを使っての清掃活動 ・作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ・清掃用具の手入れ ・材料、道具類の整理整頓 ・作業の振り返りと発表	
留意点							
評価方法	評価の観点も含めて評価方法とします。・授業に対する取組む姿勢、意欲、態度(挨拶・報告) ・その他教科に応じた評価方法						

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	I学年 A(5名) B(3名)		なし

			(知及び技) 知識及び技能	・働くことについて関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする(中Ⅰ段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	・将来の職業生活に必要な事柄を見いだし課題を設定、実践し報告する等、課題を解決する力を養う(中Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	・よりよい職業生活の実現に向けて、作業遂行のため工夫し考えようとする実践的な態度を養う(中Ⅰ段階)			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3	(知及技) 働く目的を知ることができる。(Ⅰ段階Aア(ア)) (思判表力) 将来自立のため必要なことを考える、学習したことを伝えることができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 働くことを知り、生活を工夫する態度を養う。(Ⅰ段階ウ)	(知・技) 働く目的を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して実習を進めようとしている。 (主学) 働く目的や実習時の役割を進んで知ろうとする。 木材の基本的な加工技術を理解しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考慮して作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行おうとしている。	・オリエンテーション ・実習の身なりと心得 ・安全な作業を行うために	・身なりを整え、作業場でのルールを守る。 ・安全面を確認して製作実習に取り組んでいく。	道徳「みんなのためのきまり」
	5月	9	(知及技) 木材の基本的な加工技術を知ることができる。(Ⅰ段階A(ア)㊦) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 木材の基本的な加工技術を理解しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考慮して作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行おうとしている。	・木工製作で使用する道具の扱い方	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的加工を体験する。	数学「長さ」「単位」
	6月	12	(知及技) 木材の基本的な加工技術を知ることができる。(Ⅰ段階A(ア)㊦) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 木材の基本的な加工技術を理解しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考慮して作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行おうとしている。	・木工製作で使用する道具の扱い方	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的加工を体験する。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数「長さ」「単位」
	7月	9	(知及技) 複数種類の作業を進めることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 40分間、作業に集中して丁寧に材料を加工しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考慮して工夫して作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行おうとしている。	・材料と加工 木工製品を作ろう (基本技能試しによる小物製作)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的木材加工に取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」
	9月	12	(知及技) 複数種類の作業を進めることができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 40分間、作業に集中して丁寧に材料を加工しようとしている。 (思・判・表) 実習上の安全面を考慮して工夫して作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行おうとしている。	・材料と加工 木工製品を作ろう (基本技能試しによる小物製作) ・販売用の木工製作(お盆・ペン立て等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など基礎的木材加工に取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」
	10月	12	(知及技) 指定された作業および作業および部品個数を製作することができる。(Ⅰ段階Aイ(ア)㊦) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊦) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 指定された作業および部品個数で製作しようとしている。 (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行おうとしている。	・販売用の木工製作(お盆・ペン立て等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリがけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」

2

学 期	11月	15	(知及技) 指定された作業および作業および部品個数を製作することができる。 (Ⅰ段階Aイ(ア)㊸) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊹) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 指定された作業および部品個数で製作しようとしている。 (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行おうとしている。	・販売用の木工製作 (お盆・ペン立て等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリかけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」
	12月	12	(知及技) 指定された作業および作業および部品個数を製作することができる。 (Ⅰ段階Aイ(ア)㊸) (思判表力) 工具の使用など安全に気をつけて作業ができる。(Ⅰ段階Aイ(イ)㊹) (学・人) 自ら進んで実習・自己評価を行うことができる。(Ⅰ段階Aア(ウ))	(知・技) 指定された作業および部品個数で製作しようとしている。 (思・判・表) 工具の使用など安全に気をつけて作業に取り組もうとしている。 (主学) 自ら進んで実習・自己評価を行おうとしている。	・販売用の木工製作 (お盆・ペン立て等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリかけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」「値段」
3 学 期	1月	6	(知及技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。(Ⅰ段階Aア(7)) (思判表力) 清掃時に自分の役割を考えることができる。(Ⅰ段階Aア(4)) (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。(Ⅰ段階Aア(9))	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・販売用の木工製作 (お盆・ペン立て等)	・けがき、切断、穴あけ、接合、ヤスリかけ、塗装など製品づくりに向け各作業分担し取り組む。 ・実習の記録作成及び自己評価をする。	数学「長さ」「単位」「個数」「値段」
	2月	9	(知及技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。(Ⅰ段階Aア(7)) (思判表力) 清掃時に自分の役割を考えることができる。(Ⅰ段階Aア(4)) (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。(Ⅰ段階Aア(9))	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう	・ほうきとモップを使っでの清掃活動 ・作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ・清掃用具の手入れ ・材料、道具類の整理整頓	
	3月	6	(知及技) 校内の清掃する場所の清掃手順がわかる。(Ⅰ段階Aア(7)) (思判表力) 清掃時に自分の役割を考えることができる。(Ⅰ段階Aア(4)) (学・人) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとする。(Ⅰ段階Aア(9))	(知・技) 清掃する場所を理解しようとしている。 (思・判・表) 提示された役割を理解して清掃を進めようとしている。 (主学) 自分の清掃担当を最後までやりきろうとしている。	・作業場をきれいにしよう ・1年間の振り返り	・ほうきとモップを使っでの清掃活動 ・作業フロア、作業台、資材棚の清掃 ・清掃用具の手入れ ・材料、道具類の整理整頓 ・作業の振り返りと発表	
留意点							
評価方法	評価の観点も含めて評価方法とします。・授業に対する取組む姿勢、意欲、態度(挨拶・報告) ・その他教科に応じた評価方法						